



地域支えあいニュース

第15号 平成29年11月

綾瀬市生活支援体制整備事業プロジェクトチーム

(事務局:綾瀬市社協 地域福祉班) 電話:0467-77-8166 ファックス 0467-79-1812

E-mail info@ayase-shakyo.or.jp

生活支援体制整備事業第2回(再実施)・第3回勉強会終了

生活支援体制整備事業第2回(再実施)、第3回勉強会が次のとおり開催されました。

第2回勉強会(再実施) 平成29年10月19日(木) 綾瀬市保健福祉プラザ多目的室 10名

第2回(再実施)は、前回と同様の内容で、ささえあい井戸端会議モデル3地区の座長によるミニパネルディスカッション、助け合いゲーム、ワークショップを行いました。

(アンケートの意見)

- 井戸端会議の3人の座長さんの話しが大変良かった。無理せず出来る範囲でことを進める。
- 井戸端会議の方針が良かった。
- 思った以上に楽しく、また少し、先日よりも話しの内容を知ることができたと思います。
- 今後も継続してください。
- 井戸端会議のイメージができました。
- 助け合いや支えあいが身近にあることがよくわかりました。



第3回勉強会 平成29年10月22日(日) 綾瀬市保健福祉プラザ多目的室 16名



第3回勉強会では、第1回の振り返りを行い、第二層協議体(ささえあい井戸端会議)発足に向けた問題点や疑問などを話し合い「さわやか福祉財団」の長瀬さんからたくさんのアドバイスをいただきました。

(アンケートの意見)

- 地域でやれること、やらないといけないこと等、身近な小さなことを話し合う場として難しく考えない。
 - 今必要とされることだということ。出来ることから始めようということを理解できました。
- いろいろな地域の問題、課題を伺うことができて参考になった。
- 地域単位での勉強会が必要だと感じた。
- 結果を心配するより、難しく考えず少しずつ進めてもよいと思います。
- 茶話会などのおしゃべり会から地域内の情報を共有化して「地域の見える化」ができたと思えばいいとの先生のお話で、とても気が楽になりました。



第1回の勉強会から回を重ねてきましたが、これからは具体的に地域ごとの「ささえあい井戸端会議」発足に向けた調整が必要になります。私どもプロジェクトチームは、市内14地区全てに「ささえあい井戸端会議」が発足出来るよう取り組んでまいります。